

♪♪♪ いい歌、いい町、いい自然 ♪♪♪

No. 513

2005. AUG

広報

あかいけ

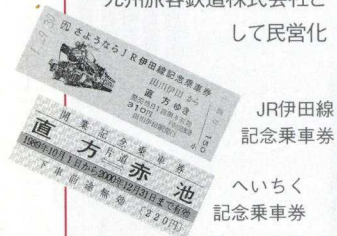
8

わ た し た ち の マ イ レ ー ル ♡ へ い ち ぐ (^^)v



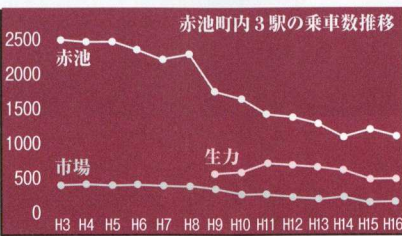
伊田線 DATA

- ↓ 明治 26 年 2 月
筑豊興業鉄道会社線として直方・金田間開通
- ↓ 明治 27 年 8 月
筑豊鉄道会社に社名変更
- ↓ 明治 30 年 10 月
九州鉄道会社に合併
- ↓ 明治 32 年 3 月
金田・伊田間開通
- ↓ 明治 40 年 7 月
九州鉄道会社国有化
- ↓ 明治 43 年 9 月
直方・金田間複線化
- ↓ 明治 44 年 12 月
金田・伊田間複線化
- ↓ 昭和 12 年 6 月
赤池駅設置
- ↓ 昭和 62 年 4 月
九州旅客鉄道株式会社として民営化



- ↓ 平成元年 10 月
平成筑豊鉄道株式会社に経営移管
- ↓ 平成 2 年 4 月
市場駅新設
- ↓ 平成 9 年 3 月
ふれあい生力駅新設
- ↓ 平成 16 年 3 月
セメント貨物輸送廃止

地域から「へいちく」と呼ばれ、親しまれている平成筑豊鉄道。わたしたちの生活を支える貴重な公共交通機関です。しかし、沿線住民にとってなくてはならないこの鉄道が、深刻な経営難に直面しています。「あつて当たり前」と思っていた「へいちく」がいま、経営面でピンチを迎えているのです。



長引く不況、少子高齢化による通学生の減少、地域経済の低迷など、「へいちく」を取り巻く環境はマイナス要因ばかり。利用者の大半は通学生やサラリーマンで、平成16年度の通学客は開業以来最少を数えました。乗客数は減少の一途をたどっています。平成11年に初めて赤字に転落し、平成14年からは、沿線11市町村による経営安定化補助金や経営努力によって、なんとか黒字を維持してきました。

しかし、昨年3月に収入のおよそ16%を占めていた三井鉱山セメントの貨物輸送（前年度実績約6千8百万円）がなくなっただけでなく、減便などで人件費削減を進めましたが、台風による運休なども追い打ちをかけ、平成16年度決算では3千7百万円の経常赤字を出すことになったのです。



←今では見ることができなくなった赤い車体のディーゼル機関車。

へいちくがピンチ

◎3期ぶりの赤字決算

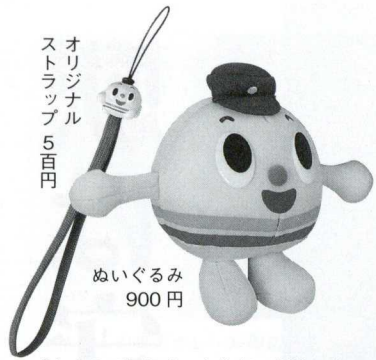
企業撤退で貨物輸送収入ゼロ、通学客は開業以来最少に。

あつ、動いている。

6月から平成筑豊鉄道がはじめた「車両運転体験」は、第三セクター初、西日本初の取り組み。経営難に直面する「へいちく」は、地域に根ざした身近な鉄道を目指し努力している。今回、この町にとってなくてはならない公共交通機関「平成筑豊鉄道」と、駅を愛し、陰で支える人たちの姿を追った。



平成筑豊鉄道(株)の車両運転を体験する土居真梨子さん(生力NT・赤池中3年)慎重な操作でゆっくりと前に進んでいく。



【ちくまる】趣味：小旅行／特技：走ることが大好き／性格：前向きで明るい／好きな食べ物：おにぎり、コッペパン、みかん／夢：運転士さんになること

15周年を迎えた昨年、イメージキャラクターの「ちくまる」が誕生しました！

ちくまる

平成筑豊鉄道株式会社



↓耐用年数は約10年、世界に一つの枕木。

枕木オーナー

レールを支えている枕木。その維持管理には年間およそ8百万円の費用がかかります。「へいちく」では枕木のオーナー

平成筑豊鉄道株式会社



枕木オーナー
市場 幸明さん（車道）

「結婚式を記念してオーナーになりました。なくてはならない「へいちく」の支えになれば幸いです。」

を募集し、名前や好きな言葉を書いたプレートを実際の枕木に取り付けるというユニークな取り組みを行っています。入会金は5千円、支援されたお金は枕木の維持管理に充てられます。本年度はあと3回の募集があり、それぞれの期限は8月31日、11月30日、2月28日。プレートの設置希望場所も指定できます。あなただけのオリジナル枕木をぜひ完成させてください。

ラッピング車両

宣伝効果があり、見ても乗っても楽しい、しかも広告収入があるという、いいことづくめの「車体ラッピング」。今年福岡県内で開かれる「ねんりんピックふくおか」や沿線の自然をイメージした緑の車体に元気なちくまるを描いた「ちくまる号」、沿線観光地15か所をちくまるが紹介する黄色の車体の「ちくまる見どころガイド号」など、現在11両が走っています。ちなみに、ラッピング第一号は平成14年に本町で開催した「上野焼四百年祭」のPR車両。お目当ての車両を見つけた時は、何となくうれいすよね。



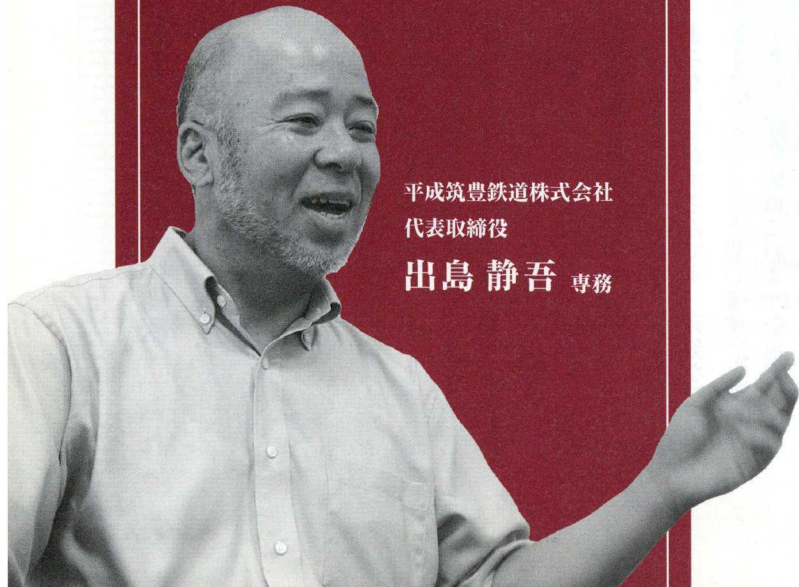
↑上野焼400年祭と田川広域陶器まつりをPRしたラッピング車両

interview

景気の低迷が続くなか、貨物収入がなくなり、また、自家用車の一層の普及や少子化などにより利用客が年々減少しており、「へいちく」はいま厳しい状況に直面しています。この危機を乗り切るには、まず、みなさまに関心を持っていただき、そして「へいちく」を利用していただくかなければなりません。そのために、より知名度を上げると共に、地域に密着した様々な対策を実施し、将来的な取入につなげていく必要があります。

我々は「安全性」の確保はもちろんのこと、的確な増便による「利便性」や車両整備・接客の向上による「快適性」を高めることで、お客様に気持ちよく乗っていただけるよう日々努めてまいります。

これからも地域の公共交通機関として、みなさまに愛され、より親しまれる「へいちく」を目指し、情熱をもって取り組んでまいりますので、温かいご声援をよろしくお願いたします。



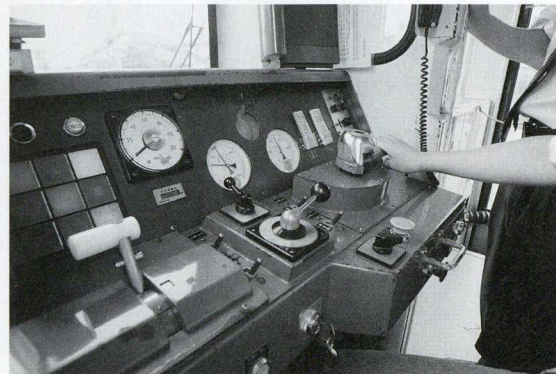
平成筑豊鉄道株式会社
代表取締役
出島 静吾 専務



車両運転体験

↑出発進行～！計器を確認し、いよいよ発車。

↓運転室の操作機器。足踏みスイッチとあわせて操作する。ポイントはブレーキ操作。



鉄道ファンにとってはあこがれの職業、運転士。そんな夢を一日でかなえてしまうイベントが「へいちく」で行われています。実際に「へいちく」の車両の運転席に座って、約150m区間を往復運転する企画「車両運転体験」。金田駅構内にある貨物用の空いた線路を活用しています。実際の車両の運転は、鉄道会社に就職したのち、車両の性能や構造、法令や規則等の学科、運転技能や故障対応などの技術を習得し、かつ国土交通省の定める各種の動力車操縦免許を取得した人に行



車両運転を体験した
土居真梨子さん（生力NT）

「車両にはたくさんの安全策があり、多くの命をあずかる運転なのだ改めて実感しました。」

か許されていません。この運転体験は、事前（学科）講習、乗務講習をそれぞれ30分受けたのち、運転士による見本運転のあと、実車を運転することが出来ます。一人ひとりに指導運転士がつき、往復300mを最高時速15kmまで出すことができます。「車両運転体験」は毎月第4土曜日（12月を除く）に金田駅構内で行われ、参加資格は中学生以上。参加希望のかたは事前申し込みと参加費5千円（昼食付き）が必要です。各回の定員は20人。9時30分から受付し、10時～14時30分まで、お昼休みをはさんで行われます。貴重な体験になること間違いなしのオススメ企画。現在、県外のかたを中心に応募が集まっています。せっかく近くで行われるイベントです。運転士を志しているかた、かつて運転士になったかたなど、関心のあるかたはお気軽に参加ください。

Safety

安全対策を徹底

便利で快適なサービスも必要ですが、それ以上に重要なのが安全性の確保です。「へいちく」では数日おきの仕業検査をはじめ、3か月ごとの点検、消耗品などの交換を定期的に行い、車両を整備しています。また、制限スピードを厳守し、危険か所にガードレールを設置するなど安全性の向上に努めています。



↑動力系の調節はミリ単位の技術が求められます。

※ ここで紹介するもののほか、「へいちく」では、指定温泉施設の入館料が割引になる「乗車証明書の発行」や各施設・店舗の特典が楽しめる「1日フリーきっぷ」、カラオケを搭載し、宴会などにも最適な「貸切列車」など、たくさんのイベントがあります。

イベントに関する申し込み問い合わせ先：平成筑豊鉄道株式会社 ☎ 22-1000

アイデア企画

ユニークで斬新な取り組みを企画し、PRと経営努力を進めている「へいちく」。鉄道と利用者の距離を近づけ、より親しまれるイベントを展開しています。